

白馬村 健康福祉課

399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北城 7025 番地

電話 0261-85-0713

Fax 0261-72-7001

hukushi@vill.hakuba.lg.jp

デマンド型乗合タクシー運行事業 運行状況報告書

平成 2 9 年度

本報告書は、平成 2 9 年度における登録者、運行、利用、収支等の状況を
まとめたものです。

目次

目次

1. 運行概要	1
(1) 運行目的	1
(2) 運行期間	1
(3) 運行方式	1
(4) サービス内容	1
(5) 予約方法	2
2. 登録者の状況	3
(1) 登録者数	3
(2) 登録に対する利用の割合	4
3. 運行の状況	5
(1) 対象期間及び運行日数	5
(2) 乗客数	5
(3) 走行距離	6
(4) 運行便数	7
(5) 予備車両の運行便数と予定運行時間を超過した便数	8
4. 利用の状況	9
(1) 曜日別にみた乗客数	9
(2) 便別にみた乗客数	10
(3) 年代別にみた乗客数	11
(4) 目的地別にみた乗客数	12
5. 収支の状況	14
(1) 収支の状況	14

目次

6. 運転免許証自主返納支援事業	15
（1）運転免許証自主返納支援事業	15

1. 運行概要

1. 運行概要

(1) 運行目的

主に高齢者や自動車運転免許を持たない移動制約者の買い物、通院などの交通確保と社会参加を促進するためにデマンド型乗合タクシーの運行事業を実施し、多くの村民にとって快適で安らぎのある生活環境の整備に資することを目的とする。

(2) 運行期間

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(3) 運行方式

事業主体／白馬村

運行主体／アルプス第一交通株式会社、アルピコタクシー株式会社、白馬観光タクシー株式会社（村内タクシー事業者）

運行方法／フルデマンド型の乗合タクシーで戸口から戸口までの運行を行う。ただし、予約がない場合は運行しない。なお、常備車両の旅客定員を超える予約がある場合は予備車両により対応する。

基軸路線／北方面行き（国道148号）佐野 ⇒ 飯田 ⇒ 白馬町 ⇒ 新田
南方面行き（国道148号）新田 ⇒ 白馬町 ⇒ 飯田 ⇒ 佐野

(4) サービス内容

利用対象者／乗合タクシーを利用することができる者は、白馬村に住所を有する者※で、次の項目のいずれかに該当し、自分で（付添人の力を借りて）乗降できる者とする。なお、利用にあたっては、事前の登録を必要とする。

※白馬村の住民票に記載されている者

イ 50歳以上の者

ロ 妊娠中の者

ハ 母子及び父子並びに寡婦福祉法に期待する母子家庭等

ニ 生活保護法の規定に基づく被保護者世帯

1. 運行概要

- ホ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持する者
- ヘ 障害基礎年金等の受給者
- ト 介護保険法に規定する要介護認定者及び要支援認定者
- チ 前イからトの利用者に付き添う者

運行日／月曜日から金曜日まで（祝日及び12月29日から1月3日までを除く）

運行時間／

午 前 (北方面行き・南方面行き)	午 後 (北方面行き・南方面行き)
8 : 1 5	1 2 : 4 0
9 : 1 5	1 3 : 4 0
1 0 : 3 0	1 5 : 0 0
1 1 : 3 0	1 6 : 0 0

運賃／

- イ 普通運賃／村内全域 1乗車300円
(3歳未満児(4月1日に3歳に達していない者)は無料)
- ロ 割引制度／回数券割引 11枚綴り3,000円

(5) 予約方法

予約方法／予約センターへの電話による予約（聴覚に障害のある者はファクシミリで予約）

利用希望日の2日前（運休日を除く）から利用希望便の出発時刻の30分前までに予約
(ただし、始発便の予約は前日まで)

予約センター／白馬村社会福祉協議会事務局内

開設時間／平日の午前8時30分から午後5時00分まで

住所／白馬村大字北城7025番地

T E L／(0261) 71-1111

F A X／(0261) 71-1113

2. 登録者の状況

2. 登録者の状況

(1) 登録者数

登録者数／711人

平成29年度末の登録者数は、登録抹消者数（14名）を新規登録者数（25名）が上回ったため、前年度比で11名の増加となる711名でありました（表1）。

登録者数を年代別にみると（図1）、60歳代以上が大半（95.6%）を占めており、80歳代の登録者が最も多く（43.0%）なっています。

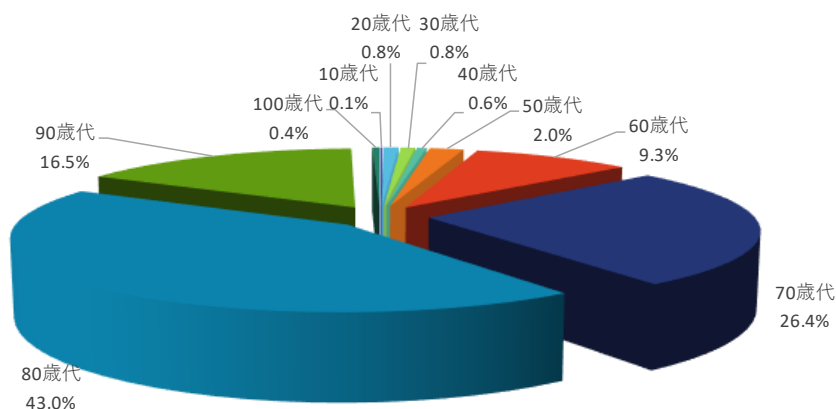
年代別人口に対する登録の割合は、70歳代が18.0%、80歳代が48.8%、90歳代が60.6%となっており、年代が上がるにつれて登録の割合も増加しています。

表1 平成29年度末の登録者数

（単位：人）

	年度末登録者数	新規登録者数	登録抹消者数	増減
男性	198	8	2	+6
女性	513	17	12	+5
計	711	25	14	+11

図1 年代別登録者

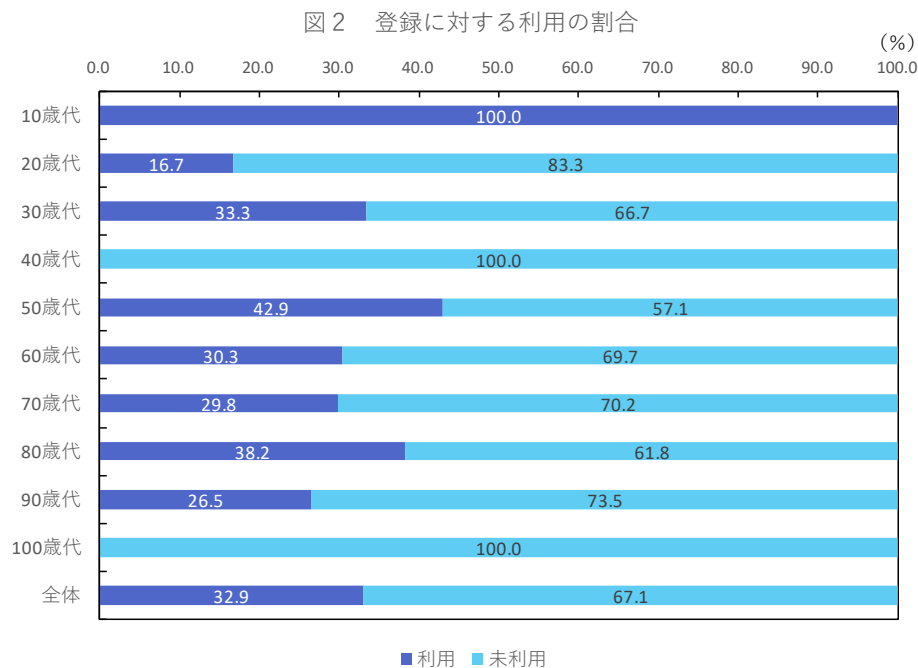


2. 登録者の状況

(2) 登録に対する利用の割合

登録に対する利用の割合をみると(図2)、全体では32.9%にとどまっています。登録者の多い年代では、70歳代が29.8%、80歳代が38.2%、90歳代が26.5%となっています。70歳代から80歳代にかけて加齢に伴い運転に対する不安が高まり、それに応じて外出時に乗合タクシーを利用する機会が増加するものの、90歳代になると外出機会自体が減少するものと推測されます。

年代別人口に対する利用の割合は、70歳代が5.4%、80歳代が18.7%、90歳代が16.1%となっています。



3. 運行の状況

3. 運行の状況

(1) 対象期間及び運行日数

対象期間／平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

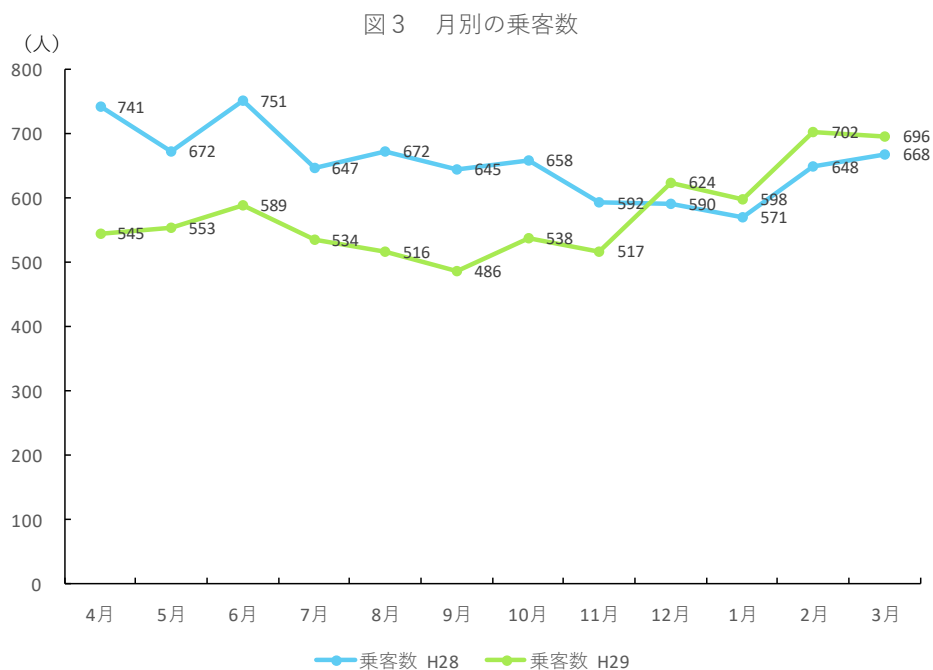
運行日数／244日

(2) 乗客数

乗客数／6,898人

平成29年度における乗客数は6,898人で、前年度比で957人の減少となりました。月別の乗客数をみると（図3）、冬期（12月～3月）の乗客数は前年度を上回っているものの、冬期以外の乗客数は軒並み減少しています。

11月まで低調であったものが、12月になって前年度を上回るまでに回復した背景には、冬期間は道路状況が悪化するので運転を控えたり、送迎する家族が多忙であったりといったことがあるのではないのでしょうか。



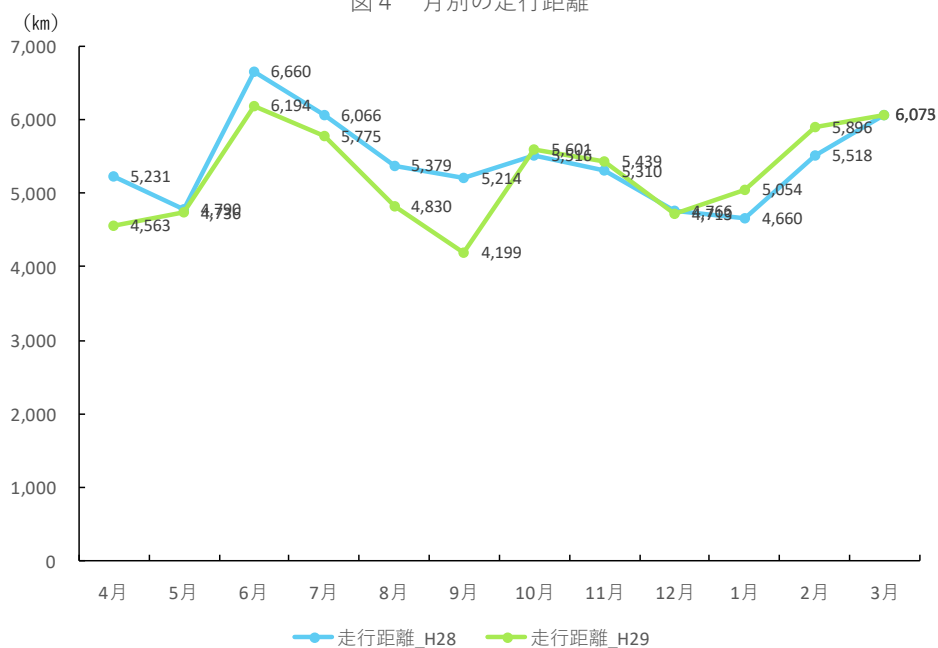
3. 運行の状況

(3) 走行距離

走行距離／63,073 km

走行距離は63,073 kmで、前年度比で2,112 kmの減少となりました。乗客数の少なかった9月の走行距離の減少幅が大きくなっています（図4）。ただ、全体としてみれば、月別の走行距離は乗客数の多寡によらず、前年度と同様の動きとなっています。

図4 月別の走行距離



3. 運行の状況

(4) 運行便数

運行便数／3,026便

運行便数は3,026便で、前年度比で152便の減少になりました。月別の運行便数をみると（図5）、上半期（4月から9月まで）の運行便数の減少が顕著であり、この期間は予約がないために運行しなかった便が多かったことになります。

平成29年度中に運行しなかった便の総数は90便で、その内の56便は上半期であり、特に16：00便と12：40便、8：15便の運行休止が目立っています。

図5 月別の運行便数



3. 運行の状況

(5) 予備車両の運行便数と予定運行時間を超過した便数

デマンド型乗合タクシーは、予約状況によって乗車や降車の時刻が流動的になってしまいます。そのため、運行会社には出発時刻から最後の乗客の降車時刻までを40分以内にするように指示しており、予定運行時刻が40分を超えると予想される場合には、予備車両を運行しています。

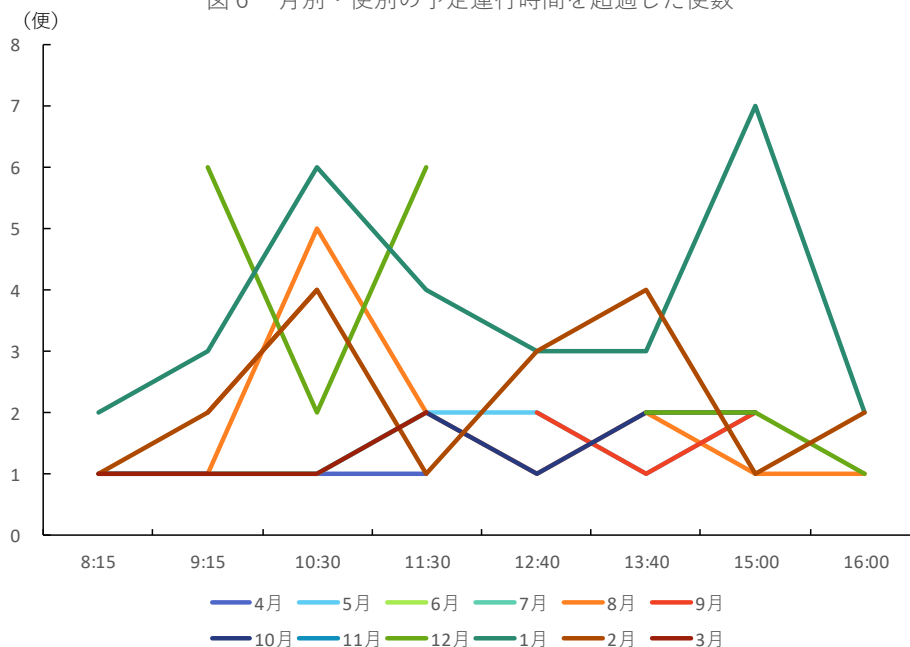
予備車両の運行便数／136便

予備車両の運行便数は136便で、前年度比で64便の減少になりました。予備車両は、乗客数が多くなる冬期（12月～3月）に集中しており、この期間における予備車両の運行便数は70便です。

予定運行時間を超過した便数／132便

予定運行時間を超過した便数は132便で、前年度比で22便の減少になりました。これを月別にみると（図6）、1月に予定運行時間を超過した便が多くなっています。予備車両は運行するものの、道路状況や交通事情により予定運行時間を超過してしまうことがあるようです。

図6 月別・便別の予定運行時間を超過した便数



4. 利用の状況

4. 利用の状況

(1) 曜日別にみた乗客数

曜日別の乗客数をみると（図 7 - 1）、金曜日の乗客数が最も多い状況に変わりはありませんが、乗客数が減少した中、木曜日のみが前年度を上回っています。

木曜日と金曜日に限って目的地別の乗客数をみると（図 7 - 2）、いずれも病院等を目的地とする乗客が最も多くなっていますが、木曜日は買い物・飲食店、福祉施設、村施設・公民館を目的地とする乗客も多く、金曜日はスポーツを目的地とする乗客が多い傾向にあります。

図 7 - 1 曜日別の乗客数

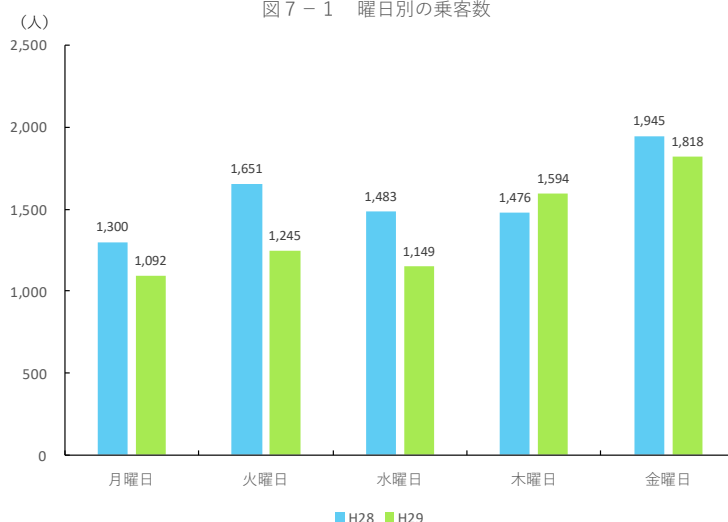
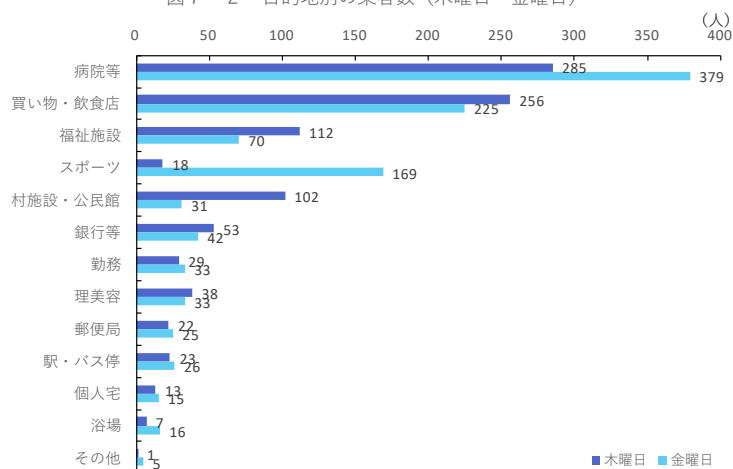


図 7 - 2 目的地別の乗客数（木曜日・金曜日）



（注）自宅を目的地とした乗客を除く

4. 利用の状況

(2) 便別にみた乗客数

便別の乗客数の利用傾向に大きな変化はありません。最も乗客数が少ない便は16:00便（最終便）で、8:15便（始発便）が次いでいます（図8-1）。両便の利用は、他の便に比べて年間を通して低調な状況（図8-2）にあることから、両便が利用ニーズに合致していないとみることもできます。

図8-1 便別の乗客数

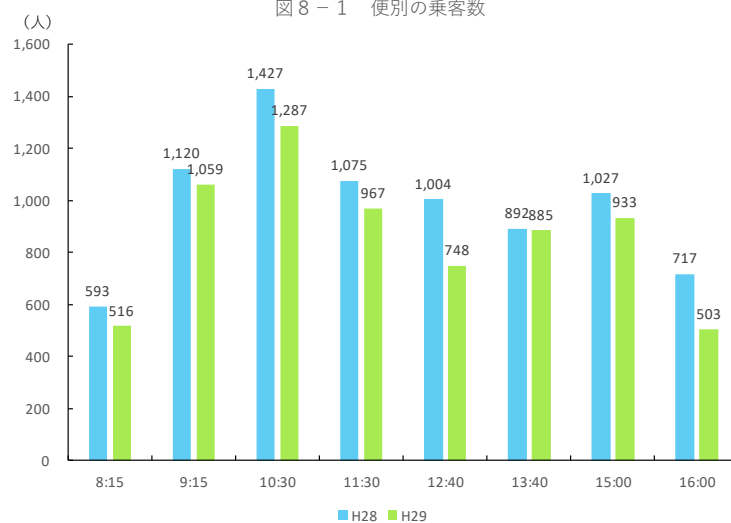
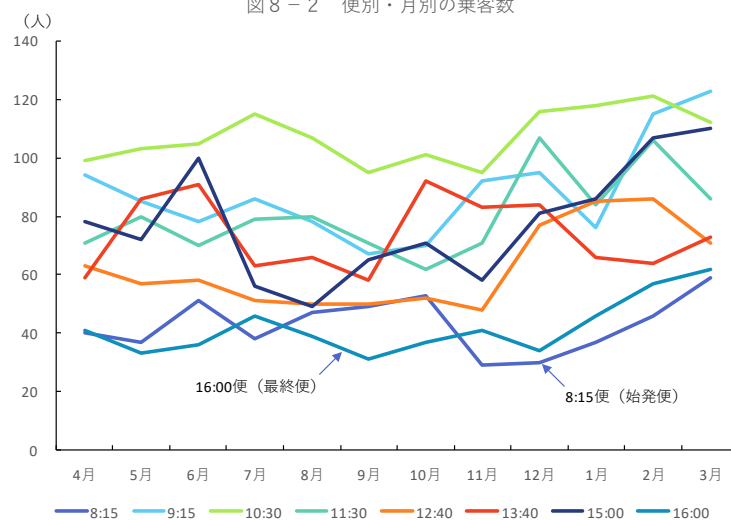


図8-2 便別・月別の乗客数

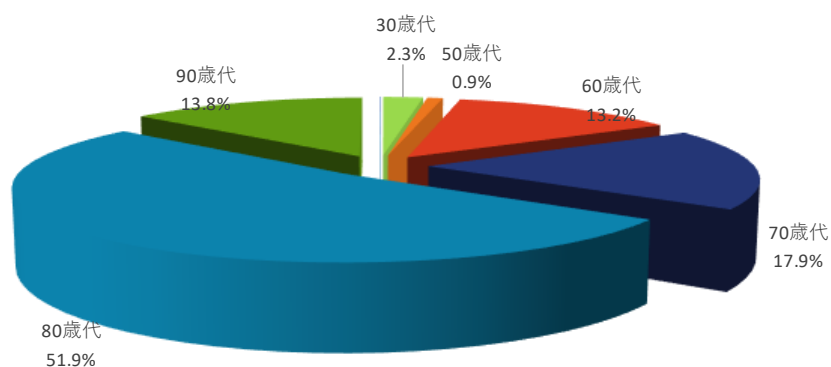


4. 利用の状況

(3) 年代別にみた乗客数

乗客数を年代別にみると（図9）、60歳以上の乗客が大半を占めており、80歳代の乗客が51.9%と最も多くなっています。

図9 年代別の乗客数

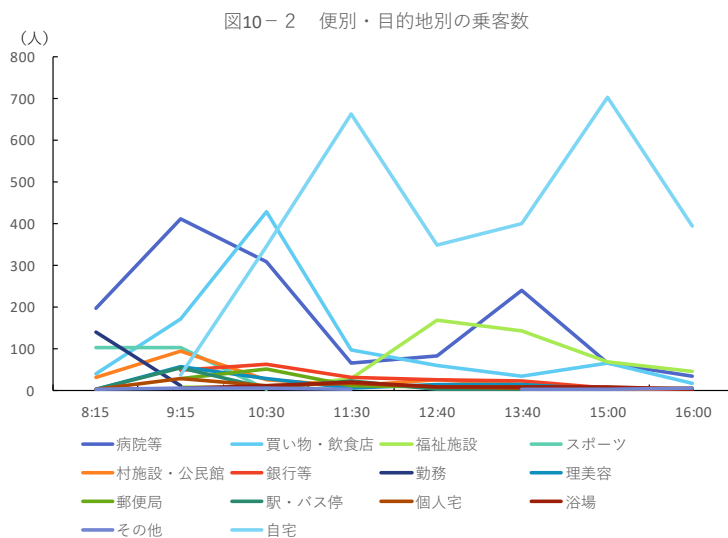
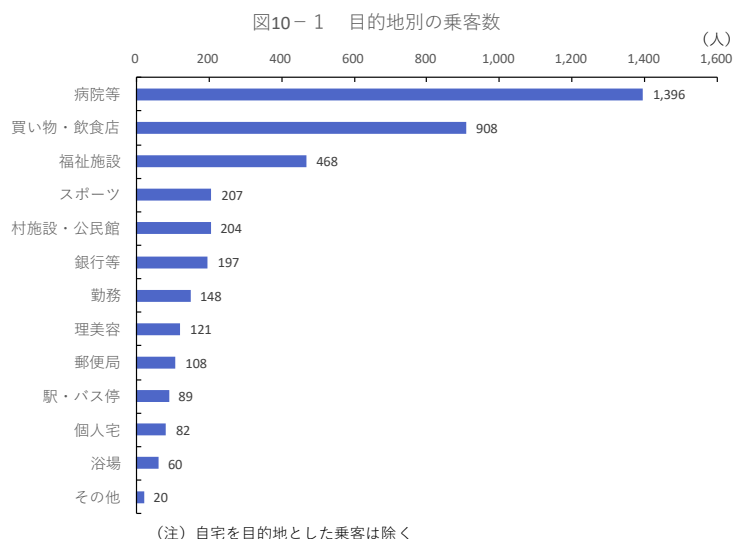


4. 利用の状況

(4) 目的地別にみた乗客数

乗客数を目的地別にみると（図10-1）、病院等を目的地とする乗客が最も多くなっています。また、買い物のほか、スポーツや浴場といったリフレッシュを目的とした外出や、銀行や郵便局など日常生活の中で幅広く利用されていることがわかります。

図10-2をみると、病院等を目的とする利用が多い9:15便、買い物・飲食店と病院等を目的とする利用が多い10:30便、11:30便以降は自宅への利用（帰路）が多いといったように、便ごとの目的地には特徴があることがわかります。また、自宅への利用（帰路）は11:30便と15:00便の二つにピークがあることもわかります。



4. 利用の状況

さらに、降車の多かった上位7箇所を便別にみると（表2）、あづみ病院白馬診療所では午前の診療に合わせる8：15便と9：15便、午後の診療開始に合わせる13：40便の利用が多くなっています。このほかの病院では、午前の9：15便又は10：30便を利用する傾向にあります。

また、アップルランド白馬店やA・コープ白馬店（ハピア）、ザ・ビッグ白馬店といった商業施設では午前の便、特に10：30便の利用が多くなっています。

白馬メディアでは12：40便と13：40便、スポーツアリーナ（屋内ゲートボール場）では8：15便と9：15便に利用が集中しています。白馬メディアでは火曜日の午後に高齢者向けの体操教室が、ゲートボール場では金曜日の午前に村ゲートボール同好会の活動が定期的に行われています。

表2 降車の多かった上位7箇所

（単位：人）

	8:15	9:15	10:30	11:30	12:40	13:40	15:00	16:00
あづみ病院白馬診療所（568）／病院等								
	149	135	52	25	51	109	18	29
白馬メディア（456）／福祉施設								
		3	5	28	169	137	69	45
アップルランド白馬店（330）／買い物・飲食店								
	37	11	213	20	17	2	27	3
A・コープ白馬店（ハピア）（270）／買い物・飲食店								
		94	84	33	26	11	20	2
横沢医院（223）／病院等								
	20	90	59	5	1	33	13	2
スポーツアリーナ（屋内ゲートボール場）（204）／病院等								
	99	103	2					
ザ・ビッグ白馬店（167）／買い物・飲食店								
		28	86	22	6	11	7	7

5. 収支の状況

5. 収支の状況

(1) 収支の状況

平成29年度の収支の状況をみると、運行委託料をはじめとする支出額12,042千円に対して、使用料収入額が1,872千円であり、その差額にあたる10,170千円を一般財源で負担しています。

平成29年度は乗客数が減少したことから、使用料収入が前年度比で約300千円減少しています。支出の面では、燃料費が前年度比で132千円増加しています。これは燃料単価の上昇によるものです。

直近3年間の収支の状況に大きな変化はなく、年間に約240日、2台の乗合タクシーで1日に16便を運行するために、村が毎年約10,000千円を負担していることになります。

(収入)

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1. 使用料	2,302,200	2,171,700	1,872,300
計	2,302,200	2,171,700	1,872,300

(支出)

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1. 運行委託料	9,420,494	9,560,239	9,440,660
2. 燃料費	1,502,406	1,556,765	1,688,887
3. 予約センター委託料	591,000	591,000	593,000
3. 受注・配車システム委託料	87,804	87,804	87,804
4. その他	237,347	153,543	232,160
計	11,839,051	11,949,351	12,042,511

(収支)

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	2,302,200	2,171,700	1,872,300
支出	11,839,051	11,949,351	12,042,511
差引	△ 9,536,851	△ 9,777,651	△ 10,170,211

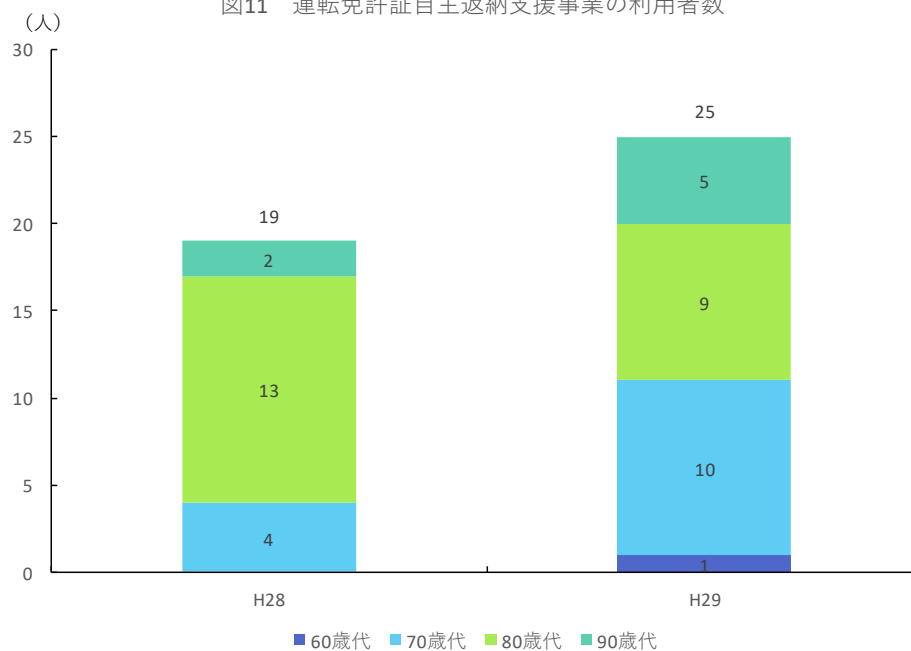
6. 運転免許証自主返納支援事業

6. 運転免許証自主返納支援事業

(1) 運転免許証自主返納支援事業

平成28年4月に開始した本事業は、高齢者等の交通事故を防止するための対策として、運転免許証を自主返納した者を対象に、11枚綴りの回数券3冊を1回に限り交付する事業です。平成29年度中に本事業を利用した者は25名で、年代別の内訳は図11のとおりでした。主に70歳代と90歳代の利用が増加したことから、前年度比で6名の増加となっています。大町警察署によると、平成28年12月からの1年間に運転免許証を自主返納した人数は28人です。同期間に本事業を利用した者は21名でしたので、自主返納者の3/4は本事業を利用していることになります。

図11 運転免許証自主返納支援事業の利用者数



白馬村 健康福祉課

399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北城 7025 番地

電話 0261-85-0713

Fax 0261-72-7001

hukushi@vill.hakuba.lg.jp

